

昭和 57 年度事業の概要

アユ養殖試験

クロレラエキス，アルファルファミール，海草粉末及びパントテン酸他を主成分とする飼料添加物について成長，品質改善等に及ぼす効果を検討した。なお，ユーグレナ（ミドリムシ）エキスについても試みたが，都合により中止した。

アユ種苗生産試験

アユ初期飼料研究部会の連絡試験として，飼料製造法の影響及び大豆レシチンの添加効果を検討した。また，親魚の成熟促進，卵質の改善等についても検討した。

河川放流技術開発試験

実用的なアユの放流技術の開発を目標として，本年度より開始された河川放流研究部会の連絡試験として，貴志川水系真国川（海草郡美里町）においてアユの適正放流密度を調査した。

魚病対策指導

アユをはじめとする淡水魚の魚病診断及びアユを対象とした医薬品等残留調査を行った。また，アユのビブリオ病に対する浸漬ワクチンの効果，塩酸ドキシサイクリンのアユに対する嗜好性等についても検討した。

種苗配布

県下の内水面漁業の振興を図るため，アマゴ，ニジマス，黒ゴイ，紀州鯛を河川放流用及び池中養殖用として配布した。

その他

合成色素投与によるギンザケの色揚げ効果及びシオミズツボワムシの培養を行った。